

2024年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名	日本語3 (Japanese 3)		
ナンバリングコード	A10707 B10807	大分類 / 難易度 科目分野	教養基礎(教育)科目 / 基礎レベル
単位数	2	配当学年 / 開講期	1年 / 1年後期・2年前期
必修・選択区分	選択 ※入学年度及び所属学科コースで異なる場合がありますので、学生便覧で必ず確認してください。		
授業コード	A023253	クラス名	-
担当教員名	河野 恵美子		
履修上の注意、履修条件	<ul style="list-style-type: none"> ・「日本語3」は留学生対象科目です。履修する際は「日本語4」と合わせて履修登録して下さい。 ・「日本語1」「日本語2」の単位が取得できていない学生は受講できません。 ・後期開講「日本語3」は能力別に2クラス、前期開講「日本語3」は1クラス編成で行います。 ・指定された教科書は必ず購入してください。購入していない学生は受講を認めません。 ※なお、「日本語3」は日本語能力に応じて単位認定できます。→「成績評価の補足」参照 		
教科書	・『N2読解スピードマスター』(Jリサーチ出版) ※必ず購入してください。		
参考文献及び指定図書	<ul style="list-style-type: none"> ・『N2聴解スピードマスター』(Jリサーチ出版) ・『ドリル&ドリル日本語能力試験N2聴解・読解』(UNICOM Inc.) 		
関連科目	日本語1、日本語2、日本語4		

○基本情報							
授業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・講義を聞いて理解できるようになるとともに、学部での諸活動が日本語を用いて行えるようになるため、読む力と聴く力の両面から総合的なスキルアップを図る。 ・課題の文章を読んだり聞いたりして、内容を理解するだけでなく、他の表現で言い換えたり、要約したり、感想や意見を述べたりできる力を身につける。 						
授業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・クォーター制で授業は週2回あります。 ・毎回、読解と聴解の問題練習を行い、日常生活や講義理解に必要な語彙・文型・表現を理解し、運用する力の増強を図ります。 ・日本語によるコミュニケーション力を身につけるため、身近なテーマや話題についての発表や質疑応答の練習を行います。 ・必要に応じて、漢字・語彙練習や実践的な日常会話・ビジネス日本語の運用練習等も実施します。 						
授業の運営方法	<table border="1"> <tr> <td>(1) 授業の形式</td> <td>「演習形式」</td> </tr> <tr> <td>(2) 複数担当の場合の方式</td> <td>「複数クラス方式」</td> </tr> <tr> <td>(3) アクティブ・ラーニング</td> <td>「プレゼンテーション」</td> </tr> </table>	(1) 授業の形式	「演習形式」	(2) 複数担当の場合の方式	「複数クラス方式」	(3) アクティブ・ラーニング	「プレゼンテーション」
(1) 授業の形式	「演習形式」						
(2) 複数担当の場合の方式	「複数クラス方式」						
(3) アクティブ・ラーニング	「プレゼンテーション」						
地域志向科目	該当しない						
実務経験のある教員による授業科目	該当しない						

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100点)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間確)	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【関心・意欲・態度】	日本語力を向上させようという意識を持ち、積極的に学習に取り組むことができる。また、日本語を積極的に使ってコミュニケーションすることができる。		10点	
【知識・理解】	日常のコミュニケーションで使用される語彙や表現が概ね理解できる。また、新聞記事などを読んで、内容を概ね理解できる。	40点		
【技能・表現・コミュニケーション】	日常的な会話の内容が概ね理解でき、必要に応じて、説明したり、相手に質問や依頼をしたりすることができる。	20点	10点	10点
【思考・判断・創造】	身近な話題や専門に関する話題について、話の概要を理解し、質問したり、自分の意見や感想を述べるることができる。	10点		

○成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法)	
<ul style="list-style-type: none"> ・成績については、次の3つを評価の対象とします。 ①期末試験の結果 ②課題の提出 ③授業への取り組み姿勢 	
<ul style="list-style-type: none"> ■<日本語能力試験(JLPT)等合格者に対する単位認定> 下記の基準のいずれかを満たす場合、担当教員に申し出るにより「日本語3」及び「日本語4」の単位認定が受けられます。 ※ただし、原則として授業には参加してください。 ●基準1 日本語能力試験(JLPT)のN2またはN1合格の場合、N2合格は「B」、N1合格は「A」 ●基準2 JLTESTのA-Cレベル(1000点満点)を受験した場合、600点～699点は「B」、700点以上は「A」 	

○その他	
<ul style="list-style-type: none"> <履修および単位認定等について> ・留学生は全員、「日本語1」から順に「日本語2」「日本語3」と受講してください。編入学の場合については個別に判断します。 ・「日本語1」「日本語2」のどちらとも単位取得できていない場合、「日本語3」「日本語4」を履修することはできません。注意してください。 <欠席・遅刻などについて> ・6回以上欠席した場合は評価を受けられません。 ・20分以上の遅刻や理由のない途中退出、授業中の指示や注意に従わず、3回以上注意を受けた場合は退出させた上で欠席とします。 	

2024年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画	科目名	日本語3 (Japanese 3)	授業コード	A023253
学修内容				
1. 日本語能力チェック テストをして現在の日本語力をチェックします。				
予習	教科書 pp. 10~27	読解力アップのポイントと練習		約2時間
復習	教科書 pp. 28~32	テーマ別キーワード		約2時間
2. 読解・聴解練習 読解課題 内容理解(短文) 聴解課題 課題理解 ※語彙・漢字課題				
予習	教科書 pp. 34~37			約2時間
復習	オンライン課題ほか			約2時間
3. 読解・聴解練習 読解課題 内容理解(短文) 聴解課題 課題理解 ※語彙・漢字課題				
予習	教科書 pp. 38~41			約2時間
復習	オンライン課題ほか			約2時間
4. 読解・聴解練習 読解課題 内容理解(短文) 聴解課題 課題理解 ※語彙・漢字課題				
予習	教科書 pp. 42~45			約2時間
復習	オンライン課題ほか			約2時間
5. 読解・聴解練習 読解課題 内容理解(中文) 聴解課題 課題理解 ※語彙・漢字課題				
予習	教科書 pp. 46~49			約2時間
復習	オンライン課題ほか			約2時間
6. 読解・聴解練習 読解課題 内容理解(中文) 聴解課題 ポイント理解 ※語彙・漢字課題				
予習	教科書 pp. 50~53			約2時間
復習	オンライン課題ほか			約2時間
7. 読解・聴解練習 読解課題 内容理解(中文) 聴解課題 ポイント理解 ※語彙・漢字課題				
予習	教科書 pp. 54~57			約2時間
復習	オンライン課題ほか			約2時間
8. 読解・聴解練習 読解課題 内容理解(中文) 聴解課題 ポイント理解 ※語彙・漢字課題				
予習	教科書 pp. 58~61			約2時間
復習	オンライン課題ほか			約2時間

○授業計画	科目名	日本語3 (Japanese 3)	授業コード	A023253
学修内容				
9. 確認テスト ここまでの学習内容について確認するテストを行います。				
予習	これまでの学習内容について復習			約3時間
復習	オンライン課題ほか			約1時間
10. 読解・聴解練習 読解課題 統合理解 聴解課題 概要理解 ※語彙・漢字課題				
予習	教科書 pp. 66~69			約2時間
復習	オンライン課題ほか			約2時間
11. 読解・聴解練習 読解課題 統合理解 聴解課題 概要理解 ※語彙・漢字課題				
予習	教科書 pp. 70~71			約2時間
復習	オンライン課題ほか			約2時間
12. 読解・聴解練習 読解課題 主張理解(長文) 聴解課題 即時応答 ※語彙・漢字課題				
予習	教科書 pp. 72~75			約2時間
復習	オンライン課題ほか			約2時間
13. 読解・聴解練習 読解課題 主張理解(長文) 聴解課題 即時応答 ※語彙・漢字課題				
予習	教科書 pp. 76~79			約2時間
復習	オンライン課題ほか			約2時間
14. 読解・聴解練習 読解課題 情報検索 聴解課題 統合理解 ※語彙・漢字課題				
予習	教科書 pp. 80~85			約2時間
復習	オンライン課題ほか			約2時間
15. 期末試験1 筆記試験(全クラス共通問題)				
予習	これまでの学習内容について復習(読解問題)			約3時間
復習	これまでの学習内容についての復習(語彙、文法)			約1時間
16. 期末試験2 口頭試験または聴解試験				
予習	これまでの学習内容について復習(読解問題、聴解問題)			約4時間
復習				